

【014】表は、科学技術研究費の推移を表したものであるが、次の記述のうち、誤っているものはどれか。

	1975年	1980年	1985年	1990年
国民総生産	1,522,094	2,453,600	3,253,705	4,353,616
研究費総額	26,218	46,838	81,164	120,896
会社等研究費	16,848	31,423	59,399	92,672
研究機関研究費	4,207	7,176	11,010	14,161
大学等研究費	5,163	8,239	10,754	14,063

- 1 1975年から5年ごとに見ると、研究費総額は一貫して増え続けている。
- 2 1975年から5年ごとの増加率を見ると、研究費総額の増加率は国民総生産の増加率を上回っている。
- 3 1975年と1990年を比較すると、研究機関研究費の増加率は研究費総額の増加率を上回っている。
- 4 1975年から5年ごとに見ると、会社等研究費が研究費総額に占める割合は、一貫して増え続けている。
- 5 大学等研究費が研究費総額に占める割合は、いずれの年も10%以上である。

【015】表はある国の物価の対前年上昇率を示したものである。この表によれば1997年の物価水準は1996年の2倍であることがわかるが、1998年以降の物価水準についていえることとして妥当なのはどれか。

年	対前年物価上昇率(%)
1997年	100
1998年	-60
1999年	120
2000年	870
2001年	-55

- 1 1998年の物価水準は1996年のそれより高い。
- 2 1999年の物価水準は1997年のそれより高い。
- 3 1999年の物価水準は1998年のその2倍以下である。
- 4 1999年の物価水準を100とすると、2000年のそれは870である。
- 5 2001年の物価水準は2000年のその半分以下である。

【014】 3

1975年と1990年を比較した増加率は

$$\text{研究機関研究費} = \frac{14,161}{4,207} \approx 3.366$$

$$\text{研究費総額} = \frac{120,896}{26,218} \approx 4.611$$

となるので、研究費総額のほうが増加率は大きい。

【015】 5

−55%なので、半分以下になる。

- 1 1996年を1とし、1997年 $=1 \times 2 = 2$ 、1998年 $=2 \times 0.4 = 0.8$ 。1996年のほうが高い。
- 2 1997年を1とし、1998年 $=1 \times 0.4 = 0.4$ 、1999年 $=0.4 \times 2.2 = 0.88$ 。1997年のほうが高い。
- 3 +120%なので倍以上である。
- 4 970である。